

令和8年度 星置東小学校全国学力・学習状況調査の結果について

【小学校国語】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	課題	改善の方向
【内容】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。 ・「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均を下回っている。 ・「書くこと」 ▽全国平均と同程度であるが、やや下回っている。 ・「読むこと」 ▼全国平均を下回っている。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ●漢字を文の中で正しく使うこと。 「情報の扱い方に関する事項」 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 「書くこと」 ●自分の考えが相手に伝わるように、書き表し方を工夫すること。 「話すこと・聞くこと」 ●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	○文脈に応じた漢字使用の定着のために、単語暗記から文中で活用する指導を重視する。短文作成と同訓異字の使い分け、作文や他教科等での推敲を取り入れる学習活動の充実。 ○情報の関係性を可視化させる。読解や記述の場面で語句同士の関係を図式化して理解させる学習活動の充実。 ○相手や目的を明確に意識させ、根拠を伴った文章構成を工夫させる。相互の読み合いや推敲を通じ表現を高めさせる学習活動の充実。 ○国語科の学習に留まらず、構成メモ等を活用し、中心と理由・事例を整理して話す練習を重ねる。相互評価を通じ説得力ある構成を意識させる学習活動の充実。

【小学校算数】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

	本校の概要	課題	改善の方向
小学校 算数	【領域】 ・「数と計算」 ▼全国平均を下回っている。 ・「図形」 ▼全国平均を下回っている。 ・「測定」 ▽全国平均と同程度であるが、やや下回っている。 ・「変化と関係」 ▼全国平均を下回っている。 ・「データの活用」 ▼全国平均を下回っている。	「図形」 ●体積の意味や、立方体の体積の計算による求め方、直方体の箱の形を構成する面について理解すること。 「変化と関係」 ●百分率で表された割合と比較量から基準量を求めること。 「数と計算」 ●異分母の分数の大きさを判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できること。 「データの活用」 ●示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言言葉を用いて記述できること。	○箱を組み立てて面の関係を確認めたり、ブロックを敷き詰めてかさを実感させたりし、計算や形の理解を深めさせる学習活動の充実。 ○「100%＝もとの量」であることを図やテープで実感させる。公式の丸暗記を避け、関係図や数直線で数量を整理して考えさせる学習活動の充実。 ○図や図形を使って分数の大きさを可視化し「分母を揃えて比べる」意味を理解させる。通分した根拠を言葉や数式で説明させる学習活動の充実。 ○複数の表やグラフを整理・対比し、数値の特徴を読み取らせる。「表の数値が～だから」と事実に基づいて根拠を書かせる学習活動の充実。算数科の学習に留まらず、様々な学習や活動において学びを活用していく。

【児童質問】 児童質問に関する調査の結果概要

児童質問	本校の概要	課題	改善の方向
	【肯定的な回答割合が全国と比べて多い質問】 ○自分には、よいところがありますか。 ○将来の夢や目標をもっていますか。 ○ICT 機器の活用 ・文章を作成する ・情報を収集する ・プレゼンテーションの作成 ○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	●自分への自信（自己肯定感）や将来の夢はあるが、地域や社会との関わりを感じにくいこと。	○地域での体験活動や人々との交流を通じ、「自分のよさや夢が誰かの役に立つ」と実感させ、主体的な参画を促すような学習活動の充実。
	【肯定的な回答割合が全国と比べて少ない質問】 ▼地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ▼学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾、家庭教師、インターネットの活用を含む） ▼昼休みや放課後に本を読んだり、借りたりするために学校図書館にどれくらい行きますか。 ▼新聞をどれくらい読んでいますか。	●平日の家庭学習時間が少なく、自律的な学習習慣が定着していないこと。 ●休み時間等の図書館利用や新聞を読む習慣が乏しく、日常の中で活字や社会の出来事に親しむ機会が不足していること。	○本校の『スマ☆キラ』の意図を子どもが理解し、中学校へのスムーズな接続を目指す。自主学習では、プレゼン等の高い技能を生かし、授業の続きや発展的な調べ学習を家庭で行わせるなど、興味関心に応じた探究課題に取り組みさせることで、平日の主体的な学びと学習時間の確保につなげる。 ○図書委員会からの発信やICTでの情報閲覧など、多様な手だてを提示する。各教科の学習内容と実際の社会の出来事を関連付けながら、児童が興味に合わせて無理なく世の中の情報に触れられるよう工夫していく学習活動の充実。